

☆放課後子ども教室☆

各地に猛威をふるった台風。放課後教室2学期も、台風の影響で1日スタートが伸びました。テレビに映る天気図には、白い大きな雲の塊がまだ見えています。これ以上、大きな被害が出ないことを祈るばかりです。

2学期がスタートして1か月が経ちました。夏休み明けすぐの頃は、なんだか気だるい表情の子どもたちでしたが、すっかり生活のペースを取り戻した様子です。8月は雨の日が多く、外で遊べる時間が少なかったですが、放課後ミニ実験でのひんやりおやつづくりや、プール遊びなど夏らしい遊びも楽しみました。ひんやりおやつづくりでは、ぬるくなってしまったジュースを氷と塩を使って冷やし、フルーツポンチをみんなで作りました。氷に塩をかけると温度が下がることは、これまでの活動でも体験しているので、手際よく作業を進めます。美味しいおやつを食べるときはみんな笑顔です。プールではオニゴッコをしたり、チームに分かれ、プールの中央に浮かべた風船をとってくるゲームをしたり、体を使ってたくさん遊びました。水泳の記録会が近かったこともあり、泳ぎの練習に励む姿も。北海道の短い夏を惜しむように、子どもたちは全力で水遊びを楽しんでいる様子でした。



9月に入っても湿度が高く、蒸し暑さを感じる日が続いた前半でしたが、やっと暑さも落ち着き、秋らしい過ごしやすい気候になってきました。コオロギやトンボ、バッタなど生き物探しもとても楽しい時期です。雨上がりにはカエルにもたくさん会えました。秋に出会える生き物や植物を探す謎解き宝探しは、子どもたちも楽しみにしてくれていたようです。封筒の中に入った指令を解いて、次の指令書がある場所を探します。指令書には、自然物を集めてくるネイチャービンゴや、示された葉っぱを探してきて、その特徴を考える自然体験プログラムを用意しました。指令をクリアするために、チームのメンバー同士、役割分担をして、あっちへこっちへ走り回ります。最後には全員が宝物のお菓子を手にすることができました。

9月の放課後ミニ実験は、水のりを使って遊び道具をつくることに挑戦です。工作などでよく使われる水のり。この水のりに塩を入れると、不思議なことに水分が抜けて固まるのです。固まるときに出てきた水気をとって、手のひらで転がしながら丸く固めると、スーパーボールの出来上がり。少し乾かして体育館の床に投げるとポーンと弾みます。子どもたちの身近にある素材を使って、実験や自然探検などを体験することで、少しでも子どもたちの好奇心の芽が伸びてくれることを願っています。

